



○江陵高校吹奏楽部による演奏



▲まぐべつ産業まつりの様子

爽やかな秋の青空のもと

10月7日に第35回まぐべつ産業まつりが、百年記念ホール前広場特設会場で開かれました。家族連れら約25,000の方が来場し、かぼちゃ投げ大会などの催しを楽しんでいました。

また、10月21日に第17回忠類どんどこいむら祭りが道の駅忠類特設会場で開かれ約5,000人が来場しました。会場では、忠類和牛や忠類地域と交流のある埼玉県上尾市の物産販売などに行列ができ、にぎわいをみせていました。

忠類どんどこいむら祭りの様子▼



○多くの方が参加した餅まき



まちのニュースは、町内の主な出来事をお知らせするページです。

まちのニュース

TOWNS NEWS



土橋侑和さん(ゆわ)の年では、「小学校最後の稲」
Fので、多
く実が収穫
「これは嬉し
いと笑顔で
毛していま
に。
収穫した
一ち米は、
12月の餅つ
ぎ集会で
ばわれま
g。

10/16 途別小学校 伝統を引き継ぐ！

途別小学校の全校児童22名は、9月に収穫し乾燥させていた稲の脱穀作業を行いました。児童らは、昔ながらの足踏み式脱穀機を使って、乾燥した稲穂から実を取りました。

途別小学校では、この地区で行われていた稲作の伝統を引き継ごうと、途別長寿会の指導を受けながら、学校水田で毎年稲作に取り組んでいます。取られた実は、「ふるい」や「唐箕」を使って選別されました。

子どもたちを魅了

9/21 白人小学校体育館

十勝チロット音楽祭に出演した演奏者3人を招き、クラシック演奏会が行われました。子どもたちは、それぞれの楽器から奏でられる音色の違いに興味深く聴きいていました。児童会長の小野田愛良(あいら)さんは「今日を楽しみにしていました。素晴らしい演奏でした」と話していました。



親子で科学に触れる

9/21 札内南小学校理科室など

札内南小学校PTAが主催する親子理科実験教室が開かれ、親子140人がドライアイスを使ったアイスクリーム作りなどの実験を楽しみ、科学に理解を深めました。参加した佐賀野瑞希(みずき)さんは「いつも食べるアイスと違い、□の中でピリピリした」と感想を語りました。



昔ながらの遊びを体験

9/23 ふるさと館

ふるさと館まつりが開かれ、訪れた子どもたちは「竹馬」や「ダルマ落とし」など昔ながらの遊びを楽しみました。

この他、石臼で蕎麦の実を挽いた子どもたちは「おもたーいっ」などと大きな声を上げながら貴重な体験をしました。



地域に求められる支援

9/27 百年記念ホール講堂

町の発達支援センターが主催する講演会が開催され、町民ら125人が参加しました。

講師の戸田竜也さん（道教育大学釧路校）は「子どもの育ちには地域の理解がとても重要」と話し、多くの参加者が発達障がいへの理解を深めました。

心地良い汗を流して

9/29 札内南コミュニティセンター

第2回「ウォークラリーまくべつ」がスポーツ推進委員会の主催で開催され、参加者44人は全長6.8キロのコースを歩き、心地良い汗を流しました。市川徹委員長は「天気恵まれ、多くの方に参加いただいた。歩くことで更なる健康増進につなげてほしい」と話していました。



永年の功績を讃えて

10/1 町民会館

開町記念式が開かれ、産業功労として伊藤光一さんと古田和昭さんが、社会功労として大内慶治さん、塩塚実さん、八巻省三さんの5人が表彰されました。

受賞者を代表し伊藤さんが「受賞に大きな喜びを感じています。今後も町の発展のため、力を尽くしてまいります」と謝辞を述べました。

防火意識を高めて

10 / 4 町民会館

北海道婦人防火クラブ十勝地区大会が開かれ、出席した4クラブの婦人らは、防火に対する意識を高めました。緑町第3公区婦人防火クラブに長年の防火活動に対して表彰状が贈られ、岡田町長は「本大会を契機として更に活動を発展させてほしい」とあいさつしました。



功績に総務大臣表彰

10 / 4 ホテルラフォーレ東京

行政相談員の澤口^{いのきち}猪吉さんが、総務大臣賞を受けました。地域住民の相談相手として15年間活動したことが評価されました。澤口さんは「多くの人に支えられ続けてこれた。(受賞は)皆さんのおかげ」と話していました。同表彰は長年に渡り活動し、模範となる人に贈られます。

本番さながらの訓練

10 / 10 幕別温泉グランヴィリオホテル

幕別消防署と帯広消防署、幕別温泉グランヴィリオホテルの合同防災訓練が行われ、防災の意識を高めました。6階客室から出火し、宿泊客が逃げ遅れたとの想定で、ホテルのベランダから、はしご車で救出するなど、本番さながらの訓練が行われました。



住民と行政の架け橋

10 / 10 保健福祉センター

民生委員児童委員協議会の主催により、幕別町行政相談懇談会が開かれ、約50名が参加しました。懇談会では、行政相談の説明や相談事例が紹介されました。行政相談員の松本茂敏さんは「ごみ処理など行政に関する相談のほか、どんな相談でも聞きます」と話していました。

体育の日の恒例行事

10 / 3～7 忠類総合グラウンドほか

体育の日にちなんだ恒例の公区対抗スポーツ大会が開催され、各会場で熱戦が繰り広げられました。このスポーツ大会は健康な体づくりと明るく豊かな活力ある地域づくりを目的に毎年開催され、ソフトボールやパークゴルフ、女性ミニバレーなどが行われています。



練習成果を披露して

10 / 10 忠類コミュニティセンター

しらかば大学ナウマン校大学祭が忠類コミュニティセンターで行われました。生徒たちは歌謡、民謡、ダンスなど日頃の活動の成果を披露しました。

また、ロビーでは手芸や写真など数多くの力作が展示され、多くの方が鑑賞しました。

協力し合う大切さ！

10 / 13～14 集団研修施設「こまはた」

子ども会育成連絡協議会忠類支部主催による「1泊研修及び防犯ミニスポーツ大会」が行われました。参加した51人の子どもたちは調理実習や映画鑑賞、スポーツ大会などを楽しみました。また、団体生活を通じてお互いに協力し合うことの大切さを学びました。



忠類の魅力を学ぶ

10 / 16 忠類小学校

「ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト 2011」の最優秀賞を受賞したシーニックバイウェイ南十勝夢街道が、忠類小学校の6年生を対象に学校シーニック授業を行いました。

児童らは、講師から地域の魅力発信の意味などについて学びました。